



漱

石

と

食

平成 29年

2月5日 日

14:00 開演 (13:15 開場)

四谷区民ホール

(新宿区内藤町 87 四谷区民センター 9 階)

第1部

講演

I. 「漱石は愉快だ」 作家・国文学者 林 望

II. 「料理書でひもとく明治・大正期の食生活
～漱石が生きた時代の食を探る～」

梅花女子大学准教授 東四柳 祥子

第2部

シンポジウム

「漱石と食」 染谷 省三 (株式会社中村屋取締役相談役)
林 望・東四柳 祥子・新宿区長 吉住 健一
コーディネーター: 牧村 健一郎 (元朝日新聞記者)



申し込み方法

催し物名 (「2月漱石イベント」)、郵便番号、住所、氏名 (フリガナ)、電話番号、希望人数 (応募者含め最大2名まで) を記入し、はがきまたは FAX で下記までお送りください。

申込期間 平成 28年 12月 15日 (木) ～ 平成 29年 1月 6日 (金) 必着

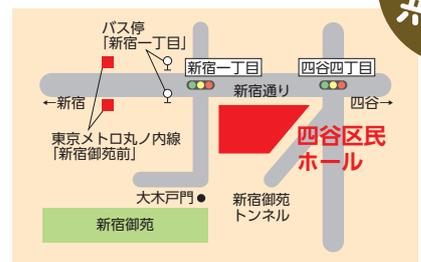
- はがきは往復はがきでなくて結構です。
- 小学生までは保護者同伴をお願いします (2名希望と記入)
- 定員 300 名程度。応募者多数の場合は、抽選し、1月17日 (火) (予定) に、当選者のみに入場券をお送りします。
- 応募に関する個人情報は、主催者が適切に管理し、本イベントにのみ利用します。



新宿区文化観光産業部 文化観光課 文化資源係
〒160-8484 新宿区歌舞伎町 1-5-1 第一分庁舎 6 階
電話 03 (5273) 4126 FAX 03 (3209) 1500



入場無料



▶ 新宿区公式 HP <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>

▶ 記念館 HP <http://soseki-museum.jp/>

主催 新宿区 SHINJUKU CITY 共催 朝日新聞社

第1部 講演「漱石は愉快だ」

作家・国文学者 林望

漱石の人格や作品に大きな影響を与えたイギリス留学。『イギリスはおいしい』の著者で国文学者の林望氏に、漱石文学との出会いや、イギリスの食事情、漱石と俳句など、縦横無尽に語っていただきます。



Profile

昭和24年東京生まれ。慶應義塾大学大学院博士課程満期退学。ケンブリッジ大学客員教授、東京藝術大学助教授等を歴任。『イギリスはおいしい』で日本エッセイスト・クラブ賞、『ケンブリッジ大学所蔵和漢古書総目録』(P・コーニツキと共著、ケンブリッジ大学出版)で国際交流奨励賞。平成15年放送のNHK BS番組『ロンドン・漱石・百年の憂愁』では案内役を務める。平成18年『リンボウ先生が読む 漱石「夢十夜」』(CDブック)を刊行。近年は古典評解書を多く執筆。『薩摩スチューデント、西へ』『句業膳語』『能の読みかた』等著書多数。『譚訳源氏物語』全十巻で毎日出版文化賞特別賞受賞。第一句集『しのびねしふ』、最新刊『譚訳平家物語』全四巻(祥伝社)

講演「料理書でひもとく明治・大正期の食生活 ～漱石が生きた時代の食を探る～」

梅花女子大学准教授 東四柳 祥子

漱石が生まれたのは明治維新の前年(慶応3年)。その人生は日本人の食生活が劇的に変化した明治大正時代と重なります。この時代の料理本研究者である東四柳祥子氏に、今に通じる食文化史を分かりやすく解説いただきます。



Profile

梅花女子大学食文化学部准教授(専門分野:比較食文化論) 国際基督教大学大学院比較文化研究科博士後期課程を経て、平成24年4月より現職。農水省「特定農林水産物等の名称の保護に関する法律」に基づき意見を聴取する学識経験者会合「総合検討委員、和食文化国民会議幹事、(一社)日本家政学会食文化研究会常任委員、日本郵便「和の食文化」シリーズ記念切手」助言・監修など。主な著書に『近代料理書の世界』(共著)、『日本食物語』(共著)、『日本の食文化史年表』(共編)、*Japanese Foodways Past and Present* (共著)などがある。

第2部 シンポジウム「漱石と食」

新宿区の食を語るとき新宿中村屋は欠かせません。漱石が東京帝国大学で教えていた頃、パン屋として本郷で創業し、その後現在地に移転します。また荻原碌山をはじめとする多くの芸術家を庇護した中村屋サロンも有名です。第1部のご講演者に中村屋前社長の染谷省三氏と新宿区長を加え、日本人の大好きなカレーや菓子パン、和菓子など、また漱石文学に出てくる食べ物についてお話いただきます。



■ 株式会社中村屋取締役相談役 染谷 省三

株式会社中村屋取締役相談役・中村屋サロン美術館館長 昭和43年株式会社中村屋に入社。取締役経営企画統括部長、取締役菓子事業部統括部長、取締役兼常務執行役員などを経て、平成21年代表取締役社長に就任。平成27年から現職。中村屋は、明治34年本郷の東京大学正門前でパン屋として創業。明治42年に新宿区の現在地に移転。日本で初めてクリームパンや純印度式カレーを販売。また明治から昭和初期にかけて多くの芸術家が集い、後に中村屋サロンと呼ばれ、日本近代美術史にその名を刻んでいる。

- 林 望
- 東四柳 祥子
- 新宿区長 吉住 健一

コーディネーター 牧村 健一郎(ジャーナリスト(元朝日新聞記者))

✦「新宿区立漱石山房記念館」について

新宿区は夏目漱石が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。漱石生誕150周年の平成29年(2017)9月開館に向けて、「新宿区立漱石山房記念館」の整備を進めています。

✦夏目漱石記念施設整備基金について

新宿区では、記念館の整備に多くの方々のご寄金をいただきたいと考え、「夏目漱石記念施設整備基金」を設置し、平成25年7月から寄付の募集を開始しました。1,815件約8,900万円(平成28年11月15日現在)のご寄金をいただいております。ご厚志をお寄せいただきました皆さまには心より御礼申し上げます。引き続き、皆さまの温かいご支援・ご協力を心よりお願いいたします。10万円以上のご寄金をいただいた場合は、記念館内に設置する銘板に記名させていただきます。基金への寄付方法など詳しいことは、新宿区文化観光課文化資源係までお願いいたします。

FAX用申し込み書

フリガナ		希望人数	○を付けてください 1名 ・ 2名
氏名		電話番号	
住所	〒		

障害のある方で配慮が必要な場合は、こちらにご記入ください。なお、内容によっては対応できないこともございますのでご了承ください。お電話での連絡が困難な場合は、連絡手段(FAX番号等)をご記入ください。

FAX番号 **03-3209-1500** ※切り取らずにこのまま送信してください。

●はがきの申し込みは

- ①催し物名【2月漱石イベント】 ②郵便番号 ③住所 ④氏名(フリガナ)
⑤電話番号 ⑥希望人数(応募者含め最大2名まで)

を記入し、下記宛先までお送りください。

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1 新宿区文化観光産業部 文化観光課 宛

申込期間

平成28年12月15日(木)～
平成29年1月6日(金)必着

募集方法は「広報しんじゅく」や区のホームページ、記念館のホームページにも掲載します。

※応募多数の場合は抽選となります。(当選者のみお知らせ)
※受付の順番は抽選に一切関係ありません。